

# 診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

国立病院機構 京都医療センター

診療統括部長 猪飼 伊和夫

京都医療センターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

## 記

1. 研究者代表	(所属) 外科 (氏名) 成田匡大
2. 研究責任者	(所属) 診療統括部長 (氏名) 猪飼伊和夫
3. 研究課題名	胆道がん切除例または非切除例における PD-1 抗体免疫染色と生命予後に関する検討
4. 研究概要 (個人情報利用の目的)	<p>PD-1 (Programmed cell death 1) 受容体は、T 細胞上において T 細胞の活性化を抑制する機能を持っており、自己に対する免疫反応を抑制するなどの機能が明らかにされている。免疫反応が抑制される際には、PD-1 受容体にリガンドである PD-L1 が結合することが示されている。</p> <p>一方、腫瘍細胞は PD-L1 を発現し、PD-1 受容体と結合することで免疫反応を抑制し、免疫反応から逃れられることが明らかになってきた。抗 PD-1 抗体は PD-1 受容体に結合することで、腫瘍細胞が発現する PD-L1 や PD-L2 と PD-1 受容体が結合するのを阻害し、その結果として腫瘍細胞への免疫反応が起こることが期待されている。</p> <p>完全ヒト型抗 PD-1 抗体は、非小細胞肺癌や悪性黒色腫をはじめとする多数のがん腫での開発が期待される新薬である。</p> <p>現時点で、胆道がん全体を網羅して、病理組織における PD-1 受容体およびリガンド PD-1 (に関する報告はない)。</p> <p>切除をおこなった胆道がん、または非切除になった胆道がんについて、PD-L1 受容体、リガンド PD-L1 (別名 B7-H1) および関連する抗体について免疫染色をおこない、臨床情報の相関関係について検討する。</p> <p>研究期間：平成 25 年 2 月～平成 26 年 9 月 (遺伝子解析：②行わない)</p>
5. 使用する診療情報	診療情報名 (胆道癌のステージ、治療方法および生存期間など) 数量 (300) 対象収集時期 平成 20 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 30 日
6. 使用する検体	検体名 (プレパラート) 数量 (10 枚 x 300 例) 検体採取時期 平成 20 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 30 日 採取方法①生検②手術

7. 病 名	胆道がん（胆嚢がん、胆管がん、十二指腸乳頭部がん）
--------	---------------------------

なお ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究部会などにおいて厳重に審査され、承認されています。

なお、個人情報の安全保護についても万全の体制下にて管理され実施されます。

- ② 具体的な研究内容を知りたい場合には、下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。
- ③ 今回の研究に用いることに対し、拒否することができます。その場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ

研究責任医師：猪飼 伊和夫

研究担当医師：成田 匡大

連絡先：京都医療センター 外科

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑1-1

TEL: 075-641-9161

（お問い合わせは、電話又は郵送でお願いいたします。）